

M	T	W	Th	F	Sa	Su
7/10 春日原	11 久留米	12 白木原(下大利)	13	14	15 白木原	16 朝倉街道
17 春日原休講	18 久留米	19 白木原(下大利)	20	21	22 白木原	23 朝倉街道
24 春日原	25 久留米	26 白木原(下大利)	27	28	29 白木原休講	30 朝倉街道
31 春日原	8/1 久留米	2 白木原(下大利)	3	4	5 白木原	6 朝倉街道
7 春日原	8 久留米	9 白木原(下大利)休講	10	11	12 白木原休講	13 朝倉街道
14 春日原休講	15 久留米・二日市休講	16 白木原・光が丘休講	17 藤崎	18	19 白木原	20 朝倉街道
21 春日原	22 久留米	23 白木原(下大利)	24	25 QRコード	26 白木原	27 朝倉街道

続く勉強の極意

一 うやって時間割を広げてみると夏休みはたくさん(無限に)あるように感じてしまう。でもこの日にちの上にパン印でもつけていくと、3列目ぐらいに到達する頃には見え方が変わって来る(実はその頃は三者面談も終わり夏休みは始まったばかりだが)。

最 後の2段目あたりに印がつく頃(冷蔵庫にでも貼らない限りそんなに物持ちがいい人はいないだろう)には「手応えのある者」と「そうでない者」の差は歴然となっていく。偏見かもしれないが「そうでない者」の1日は夕方に来るのがきつと早いだろう。

9 月に大運動会がある高校生は大変だ。雑事に忙殺され、不幸にも「手応えのある者」と「そうでない者」の差は気づきにくい。すべて(打ち上げ)が終わった後の十五夜の頃、喧騒が静まり、孤独になる時間が増えた時、その差に気づき愕然とする。

2 学期になると予備校に入学し「やるぞ」という空気が漲るが、1ヶ月は4週間、12月まで4ヶ月。計16回の授業なら参考書の1冊でも解説できるが、実態は模試(オープン・実践・プレ、そして防医、防大入試)や12月は冬期講習でマックス12コマ(4コマは痛い)。1単元1、2回の説明が精一杯で、講座で賢く育てることより、元々できる人の知識整理(合格実績になる人の名簿欲しさ)で終わってしまいがちだ(その頃には陽は短く、涼しくなったこともあり1日の過ぎ方も本当に早い)。

私 は物理的な時間(コマ)の事実と季節という情緒的だが経験を元にこれから起きることを書き綴っている。少しは心当たりや諸君の想像と合致するはずだ(秋の1日と夏の1日は物理的には同じでも後者の方が天井が高い)。

高 校受験と大学受験の違いは「終わり(ここまで)がない」ということだろう(中学3年生の夏期講習のような短期間で試験範囲全てを網羅できる「講座」などない)。これは社会人が取り組んでいる日々の課題(仕事)に近い。

勉 学は漫然とすれば続かない。細く、長く、コツコツと「続け」られるようにする工夫が大切だ(大池の水より小川の水の方が小さくとも総量は大きく、濃みもない)。そして、その日々の学び一つ一つが繋がる勉強になっている人は「本当に強い」。

数 学教室は全てが繋がる(続ける)勉強に腐心してきた。(全てが繋がるから)鉛筆が止まらない。これが「数学教室」の核心だ。その引き出しを私は数学というジャンルで諸君に提案しているだけなのだ(数学教室流)。

3 月(5月)から2次関数(ベクトル)を分割ストーリー立ててこつこつと予習してきた会員を見て「今から入会して間に合うのか?」と聞かれる。「高3の秋冬に入会するあなたより今から始めるあなたの方が賢くありませんか?」急ぎなさい。